

日々あらた

No.13

2018年2月1日発行

編集：会報編集委員会

さつまいもの植栽

北垣内 裕

高山地区、子育て支援センターの幼児（0才～2才）と世代間交流の一環で、去る5月12日にフラワーセンター隣り空き地を借用して、シルバー人材センター会員と、幼児・親御さんで「サツマイモ」の蔓を植栽しました。

前日には土を耕し、堆肥を入れて畝を作り、準備をしました。当日は天候にも恵まれて順調に作業が出来て子どもたちと楽しい一時を過ごすことが出来ました。

植栽以降は給水、草取り・草刈りを繰り返し、収穫の時期を待ちました。

10月27日に収穫作業を子どもたちと共同で実施しましたが、残念ながら予想を下回る結果となりました。経験者の話によると肥料が効き過ぎて、養分が葉・蔓にゆき、芋に廻らなかったとのこと、来年以降の参考にしたいと思います。

芋の生産は少々残念でしたが、子どもたちとの交流は十分に出来ましたので、結果はよしとしたいと思います。

ちなみに、蔓の利用ですが、柔らかい部分は食用にして、太くて固い部分は乾燥させて、クリスマスツリーの飾りに使用することでした。



サツマイモ掘り



親子と共に

会員交流研修会を開催して

会員互助会幹事 小林 幸吾

過日12月7日～8日に、毎年恒例の会員交流研修会を湯田中温泉「おもだか」で開催いたしました。開催に際しては出来るだけ多くの会員の皆さんに参加していただけるよう、期日・場所・研修会場の有無・テーマ・講師等について打ち合わせを行い、準備いたしました。当日の研修会はテーマ「達磨大師に学ぶ」と言う事で小布施町玄照寺住職葦澤義文さんの曹洞宗宗派



葦澤義文住職のお話

の達磨大師の題材にしたお話、また近況の寺の情况等貴重なお話を聞くことが出来ました。研修会の後は、温泉に入って日頃の疲れを取り、リラックスすることが出来たと思います。

入浴後の交流会では人生話等さまざまな趣味のことなど話題は尽きなく語り合い、楽しい時間を過ごすことが出来たと思います。

会員の皆さんには一度リタイアして現役から離れて、昔より活動が少なくなっていると思いますが、自分自身の為にも日々生きがいのある健康の

為にも一歩外に出て互助会行事にも積極的に参加し、人との交流活動を広げていただきたいと思います。



お話も弾んだ交流会